

平成 24 年度

事業報告書

自 平成 24 年 4 月 1 日
至 平成 25 年 3 月 31 日

公益財団法人下関海洋科学アカデミー

目 次

平成24年度公益財団法人下関海洋科学アカデミー事業報告書

1	事業概要	1
2	事業内容	1
3	会議に関する事項	8
4	役員等に関する事項	9
5	登記事項	10
6	常勤の役員及び職員に関する事項	10

平成24年度公益財団法人下関海洋科学アカデミー決算報告書

1	平成24年度公益財団法人下関海洋科学アカデミー 貸借対照表	11
2	平成24年度公益財団法人下関海洋科学アカデミー 正味財産増減計算書	16
3	平成24年度公益財団法人下関海洋科学アカデミー キャッシュ・フロー計算書	23
4	平成24年度公益財団法人下関海洋科学アカデミー 財務諸表に対する注記	24
5	平成24年度公益財団法人下関海洋科学アカデミー 附属明細書	26
6	平成24年度公益財団法人下関海洋科学アカデミー 財産目録	27

	平成24年度公益財団法人下関海洋科学アカデミー 監査報告書	31
--	-------------------------------	----

平成 24 年度事業報告書

平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで

1. 事業概要

当財団は指定管理者として下関市より下関市立しものせき水族館「海響館」の管理運営事業を受託し、設立時の基本概念である「海のいのち、海といのち」に基づき、『市民が誇れるやさしい水族館』を目指し、環境、生態、生物多様性について教育的配慮のもと感動と楽しさを伴った展示を行いました。平成 24 年度は昨年度に引き続き、世界を代表するフグ目魚類展示やペンギン村の展示充実、生き生きとした飼育展示と教育面に重点をおいたアクティビティ運営の確立に努めました。新たなアクティビティとして魚のエサやり体験やペンギン大編隊を実施した他、独立行政法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）との連携により、学術研究船『白鳳丸』の一般公開などを実施しました。また、新たにメスのカリフォルニアアシカ 1 頭を導入し、スナメリ 4 頭を保護収容いたしました。天皇皇后両陛下に海響館をご見学いただきました。

公益事業では、下関の中核的観光施設の拠点及び学習施設としての役割を担う受託事業、ボランティア活動や自主研究などを行う自主事業を実施すると共に、観客の利便性に配慮した収益事業を運営して参りました。下関市内の小学生限定のイベント「海響館をめぐるクイズラリー」や下関市、北九州市の保育園・幼稚園児を対象にしたイベント「かいてみようチャンピオン大会」をはじめ、ハロウィンやクリスマスなど季節感を盛り込んだイベントを開催しました。企画展としては恒例の「海響あーとコンテスト展示会」を開催した他、全館スペースでの展示展開内容とした「まねして得とれ～生き物たちの生きる知恵～」や、新たな展示解説手法を取り入れた「ナニコレチンアナゴ～誰も知らないチン発見！～」を開催した結果、平成 24 年度入館者数は 700,657 人（前年度対比 98.9%、目標対比 102.4%）となった他、平成 25 年 2 月 22 日には累計入館者数 900 万人を達成いたしました。

海響館サポーターズクラブは入会勧誘強化を図った結果、1万人の会員数を確保しました。年度合計では、ライムサポーター 1,668名、オレンジサポーター 1,163名、ブルーサポーター 6,172名、レッドサポーター 5社、ゴールドサポーター 6名の新規・更新会員を獲得し、会員は合計 10,182名、賛助金収入は 21,053,900 円（前年度対比入会者：97.6%、賛助金：98.1%）となりました。

公益法人制度改革に伴い、平成24年4月1日より公益財団法人に移行し、公益財団法人下関海洋科学アカデミーに名称変更いたしました。

2. 事業内容

(1) 下関市立しものせき水族館「海響館」の管理運営業務の受託

下関市立しものせき水族館の管理運営に関する基本協定に基づく年度協定、並びに地方自治法施行令第 158 条第 1 項及び下関市会計規則第 35 条の規定による下関市立しものせき水族館使用料徴収事務委託契約に基づき、業務を遂行した。

(2) 水生生物及び社会教育に関する調査研究

飼育生物の繁殖を推進し、特に生態的な知見の乏しい種について調査研究を進めている。館内外で実施する社会教育活動に関する調査研究としては、各種研究会やワークショップなどへ参加するなど情報収集を実施した。鯨類研究室を開所し、鯨類に関する調査研究活動ならびに教育普及活動を実施した。鯨類に関する 6 題の調査研究を開始し、論文投稿 1 題、シンポジウムでの口頭発表 1 題を行った。

(3) 水生生物の保護及び保全に関する調査研究及び普及啓発

- ① 瀬戸内海西方海域スナメリ協議会の活動に参加し、山口県、福岡県、大分県にわたる海域のスナメリを中心とした沿岸鯨類の調査及びスナメリの繁殖に関する研究を継続した。特に、スナメリの飼育下繁殖及び人工繁殖に向けての技術開発として、スナメリの性ホルモンの変動と光環境との関連についての研究結果を発表した他、海峡メッセにて「スナメリシンポジウム2013」を開催した。
- ② 周防灘、響灘、関門海峡における水生哺乳類を中心とした海洋生物の座礁、混獲鯨類などへの対応と調査では、生存鯨類 3件（1種 4頭）に対応し、緊急保護した（2頭保護中、2頭死亡）。また、死亡鯨類 25件（2種 24頭 種不明1頭）にも対応し、解剖などにより得られたサンプルを所定の研究機関に送付した。なお、ストランディングに関する調査結果を日本セトロジー研究会第23回大会にてポスター発表した。
- ③ ホールボランティアの活動としてワークショップやシロナガスクジラ骨格標本のすず払いを開催した他、海岸でのスナメリ定点観測や観察会、活動報告会などを実施し、ホームページ上で会報やストランディング情報を、館内にて市内三軒屋海岸におけるスナメリ観察情報をそれぞれ発信した。また、「スナメリシンポジウム2013」にて、活動概要のポスター発表を実施した。
- ④ 下関周辺でのウミガメの情報収集及び産卵調査では、漂着 4件、魚網混獲 4件、海上での発見 1件、合計 9件（3種及び種不明1、9頭）の情報を入手した。なお、混獲された衰弱個体および海上で発見された衰弱個体2個体を保護し館内水槽にて飼育中である。
- ⑤ 周防大島沖に群生するニホンアワサンゴの生息域内域外保全に向けての取り組みとして現地にて採取した本種のプラヌラを用いた飼育育成を行なう一方、飼育展示を通じた啓蒙活動を行っている。
- ⑥ チリ国立メトロポリタン動物園のフンボルトペンギンプロジェクトに協力した。
- ⑦ 太地町立くじらの博物館の「腹びれイルカ」研究プロジェクトに協力した。

(4) 水生生物の収集、飼育及び展示

- ① 生物収集に関しては、山口県内、九州、四国の漁協などにご協力をいただき自家採集並びに直接購入、自家輸送を積極的に実施し、シノノメサカタザメや山口県周辺海域にてマンボウ、キアンコウを収集した。また、全国の水族館、水産研究所、漁協などからの購入、自家輸送を積極的に実施した他、次世代のピラルク展示を実現した。
- ② アシカの新規導入では、国内水族館の協力によりメス 1頭を搬入した。
- ③ フンボルトペンギンについては、血統管理の下、繁殖による個体数の確保を行った他、ジェンツーペンギン 1羽が巣立った。一方、アクティブなペンギンの行動展示として「ペンギン大編隊」のイベント化を実現した。
- ④ 地域情報を収集し、話題性のある生物として市内で漁獲されたトゲノコギリガザミなどの飼育展示を行った他、リュウグウノツカイの冷蔵標本を期間限定で展示した。
- ⑤ 飼育生物のより良い環境作りと見やすくわかりやすい展示を行い、展示意図を明確に伝えた。
- ⑥ 展示種特有の暮らし方（生き様）を展示する方針を基本とした。
- ⑦ フグ目魚類の100種常設展示を継続し、イガクリフグなど海響館初展示となる種の導入を行った他、フグ目魚類の繁殖では、ネズミフグや淡水フグ類などの繁殖を進めている。また、ズームアップフグの不思議コーナーのテーマを「食文化」に展示変更した。
- ⑧ ニホンアワサンゴなど刺胞動物の飼育を推進し、展示の充実に努めた。

⑨ アクアシアターのプレゼンテーションは新たなビヘイビアの開発に取り組み、観客席側での4つのビヘイビアを公開した。IMATA 2012年度国際会議にてバンドウイルカのトレーニングについて発表した結果、行動トレーニング部門1位を受賞した。

⑩ 参加型展示の開発に努め、新たに「さかなのエサやり体験」を実施した他、飼育員による給餌解説などを継続した。常設展示ではキッズコーナーやペンギン村での体験型学習などの内容を変更した他、企画展では新たな展示解説手法を取り入れるなど、楽しく解りやすく学べる展示手法を実践した。

⑪ 企画展は、7～10月に「まねして得とれ～生き物たちの生きる知恵～」を全館スペースでの展示展開として開催した他、10～11月に「海響あーとコンテスト展示会」、3～5月に新たな展示解説手法を取り入れた「ナニコレチンアナゴ～誰も知らないチン発見！～」を実施した。この他に特別水槽にて小企画展示を8回にわたり実施した。

⑫ 「夜の水族館」では、夜間限定のアクアシアター演出や館内外の照明演出などにより、昼との違いを際立たせる一方、期間による内容の差別化も行い、リピーター確保に努めた。この結果、ゴールデンウィーク期間 9日間で 9,705人、夏休み期間 37日間で 32,237人、カウントダウン1日間で 2,343人、合計 47日間で 44,285人の集客となった（前年度対比 101.8%）。

⑬ 公式ホームページは海響館の活動に関する最新情報を発信するツールとして活用し、年間 291回に及ぶ更新を重ねている。結果、ホームページへの訪問者数は 98万人を上回り、総アクセス数は 3,300万件を超えた（前年度対比 105.1%）。また、モバイルサイトについては、サイトへのアクセスを促す試みとして、イベントトピックスにクイズを掲載し、回答をQRコードよりモバイルサイト上にて確認できるようにしたところ、訪問者数は 150万人を上回った（前年度対比 211.7%）。また、鯨類研究室のホームページを新たに立ち上げた。

⑭ 飼育生物の人工繁殖技術獲得として、神戸大学大学院 楠准教授の指導の下、桂浜水族館に借用中のバンドウイルカにて精液保存実験やフンボルトペンギンの精液採取を実施した。

⑮ 以下の基本事項は前年に引き続き実施した。

i. 展示生物などの開発については、フトツノザメなどの深海生物やハガツオ、ヒクラゲなどについて、試験導入を実施し、一定期間について飼育展示に成功した。

ii. 魚類など展示生物の収集、購入は24年度合計で 376種 81,529点（内イワシ類 71,500点を含む）となり、3月末時点での飼育数は 532種 34,342点となった。

iii. 飼育生物の健康管理を強化し、健全な環境作りや繁殖に向けてのデータの蓄積に努めた。

iv. 鯨類、鰭脚類、鳥類の飼育展示では、特にゴマフアザラシやペンギン類の繁殖個体を飼育展示した他、アザラシ赤ちゃんの愛称を募集するなど、話題性を創作した。

v. 展示資料は、自家収集も積極的に行ない、標本などを作成し、企画展や解説用資料として活用した。

vi. イルカ・アシカのプレゼンテーションは、「現代版 巖流島の決闘！」をテーマに展開し、夏期には、スプラッシュシート演出を追加したサマーバージョンで実施した。なお、3月からはテーマ変更を行い、「トレジャーハンター」とした。また、夜の水族館におけるナイトアクアシアターは、それぞれ昼間とは異なった内容で実施した。

vii. 他水族館との展示生物及び飼育技術の交換を実施した。

⑯ 生後まもなく迷入したスナメリ幼獣 1頭を含むスナメリ 4頭に対応し保護収容を行い、成獣 2頭を飼育継続している。

(5) 広報宣伝、観光客誘致、その他観光・レクリエーション事業の振興に関する事業

- ① 旅行エージェントなどへ企画旅行、幹旋団体旅行などのコース及び企画提案を行った。
- ② 近隣観光施設と提携した観光客誘致、モアしものせき委員会による共同パンフレットの作成などを行い、旅行エージェントや近隣宿泊施設並びに観光関係団体への営業活動を行った。
- ③ 広報宣伝事業
 - i. 西日本を中心に主たる旅行エージェントを計画的に訪問した。更に首都圏の大手旅行エージェントの企画統括部門へのセールス活動を行った。
 - ii. テレビ宣伝については、夏期（7月13日～8月18日）、春期（3月15日～3月31日）において夏期は山口・福岡・熊本・広島、春期は山口・福岡・広島、合計 15局のテレビ局でCM 放映を行った。ラジオ宣伝については、下関市内のFM ラジオ局においてオリジナル番組「海響館まるごと情報局」を制作し、年間を通じてPR を行った。
 - iii. 新聞、雑誌、タウン誌、情報誌などには、ニュースリリースの発信のみならず、積極的な情報提供を広く行い、パブリシティによる広報活動を行った。
 - iv. 広告塔により海響館のPR を行った。
 - v. 福岡天神線高速バス車両 2台に全面広告を施し、宣伝活動を行った。また、市内路線バスでの車内放送による宣伝活動も行った。
 - vi. 地域協賛広告、市内のPR 活動として維新・海峡ウォーク、しものせき海峡まつり、海峡花火大会などへの協賛を行った。
 - vii. 観光宣伝隊による観光誘致活動を行った
 - viii. オフィシャルホームページ並びにモバイルサイトにて、年間を通じ最新情報を発信した。
- ④ 下関市をはじめ、近隣各種団体が主催するイベントにペンギン村PR キャラクターの着ぐるみを貸出し、イベントを盛り上げると共にペンギン村のPR を行い、他団体との連携した広報宣伝活動を行った。
- ⑤ 広報・報道資料として 94件を発信し、テレビ 142番組、ラジオ 20番組、新聞 126回などの取材を受け、海響館情報がマスコミに取り上げられた。
- ⑥ 奄美大島での現地撮影に協力したNHK 動物番組「ダーウィンが来た！」が全国放映された。

(6) 観光資源の開発及び観光事業関係団体などとの連携

- ① モアしものせき委員会(海峡メッセ・海響館・唐戸市場・カモンワーフ)による共同セールスや雑誌、新聞広告、イベントを実施した。また、海峡ドラマシップ、九州鉄道記念館との連携による「関門遊遊チケット」、美祢市、長門市との連携による、秋芳洞、金子みすゞ記念館との「トライアングルチケット」及び、開館以来提携している海峡ゆめタワーとの「ダブルチケット」の販売も継続して行った。
- ② 山口県地域振興部との連携により「観光入込客統計満足度アンケート調査」(2回)を行った。
- ③ 下関の特色ある水産物であるフグ・ウニ・クジラに関する食文化の普及と啓蒙に関しては、海響館売店においても積極的に陳列、販売を行っている。また、下関くじら食文化を守る会の会員として加盟継続した。
- ④ 集客力の高い施設であるペンギン村を広報宣伝のツールとして活用した。

(7) 下関市立しものせき水族館の事業に関連する収益事業

- ① ミュージアムショップ、ペンギンショップを運営し、ペンギン村PRキャラクター「ペン太」などを使用した菓子、文具などの新しい商品開発を行った。ペンギン村 2階ペンギンショップを閉鎖するとともに、本館 1階ミュージアムショップの売り場面積を拡張し、3月よりリニューアルオープンした。
- ② レストランの運営は平成 23年度に引続き下関グランドホテルに業務委託している。

(8) その他

- ① 公益社団法人日本動物園水族館協会の事業に関連する活動
 - i. 全国及び中国四国ブロックの各種会議・研修会などに参加し、7件の研究発表を行った。
 - ii. 総会、園館長会議など全国及びブロックの各種会議を通じ業界の発展に寄与すべく、積極的に取り組んでいる。なお、石橋専務理事は日本動物園水族館鯨類会議副代表として、展示部職員4名が教育普及委員会教育研修部員、マカロニペンギン種別調整者、スナメリ繁殖検討委員、ゴマフアザラシ繁殖検討委員としてそれぞれ取り組んでいる。
 - iii. 水族館技術者研究会、海獣技術者研究会などに参加し、技術情報の交換を行うと共に、研究成果を発表した。
 - iv. その他、必要な会議や研修会などにも参加し、飼育技術の向上を図った。
- ② 国内外の水族館との連携
 - i-1. 香港オーシャンパークとの相互協力では、職員 2名を派遣し、香港オーシャンパークで開催された IMATA 2012年度国際会議に参加するとともに、海獣類に関する情報交換を行った。
 - i-2. チリ国立サンチアゴ・メトロポリタン公園付属動物園に対して、各種支援を行った他、展示部職員 2名を派遣し、技術・情報交流及びペンギン生息地の視察を実施した。
 - i-3. 青島市青島水族館で開催された「青島水族館80周年記念式典」ならびに「国際フォーラム」に出席するとともに、国際フォーラムで講演を行った。
 - i-4. 国内の水族館などでは、多くの園館より生物収集に協力いただいた他、宇部市ときわ公園にて、ピラルクの蓄養協力をいただいた。一方、八景島シーパラダイス新施設内覧会や名古屋港水族館開館20周年記念式典に出席した。
 - ii. 近隣水族館と共同で設立した瀬戸内海西方海域スナメリ協議会の活動を実施した。
 - iii. サポーターズクラブカード提示による入園料割引協定について、周南市徳山動物園、到津の森公園など 6施設との年間パスポート相互割引協定を継続した。
- ③ 大学、研究機関、学会などとの連携並びに技術、情報の収集
 - i. 東京大学、三重大学、新潟大学、東京海洋大学、水産大学校、長崎大学、山口県水産研究センター、萩博物館それぞれと共同研究に取り組んでいる他、山口大学など複数の大学、研究所、博物館との間で研究協力、展示協力、情報交換を行った。また、共著論文として日本水産学会などにて 3題の口頭発表、5題のポスター発表及び「山口県日本海域の頭足類相（予報）」をはじめ 5題の投稿論文掲載を行った。
 - ii. 複数の大学、研究所などとの間で研究協力、情報交換を行い、フグ目魚類を始めとした生物学的情報の収集に努めた。
 - iii. 独立行政法人水産大学校と連携し、体験学習の場として実施している「オープンラボ」は、20のテーマをもって開催し、約1万4千人の参加があった。

- iv. ペンギン会議全国大会にて 1題の口頭発表を行った他、ペンギン会議との連携によるチリ国立サンチアゴ・メトロポリタン公園付属動物園との交流も継続している。
 - v. 日本水産学会や日本魚類学会をはじめ、日本海甲殻類研究会、日本セトロジー研究会、日本水棲生物医学研究会、西日本フク研究会などの学会、研究会に参加し、口頭発表（6題）、ポスター発表（4題）、会報への投稿を行なうと共に情報交換を行った。
 - vi. 海響館、明治学園中学高等学校、水産大学校の連携で取り組んでいるスーパーサイエンスハイスクール（SSH）は臨海実習を実施した。
 - vii. NPO 法人自然と釣りのネットワーク、黒潮生物研究所と協力し、周防大島沖に群生するニホンアワサンゴの生息域内域外保全に向けての取り組みを行ったなかで、新たに設立された周防大島アワサンゴ協議会との協力を開始した。
 - viii. 韓国蔚山市にあるCRI（Cetacean Research Institute）より 会長ら 3名が来館し、スナメリなどについて情報交換を行った。
- ④ 総合的な学習への取り組みとして水族館館内の校外学習プログラム 11件、バックヤードツアー 14件、ワークシートを利用した学習 1件に対応した。また、就労体験型の飼育実習として、20名の実習生（大学、専門学校生及び「教職社会体験研修」「10年経験教諭校外研修」）を受け入れた。
 - ⑤ 出前講座など、教育現場へ赴いての活動は、16件 1,164名を対象に実施した他、各種団体の主催する催事への参加並びに講演、職業講話などにも参加し、来館意欲の促進を図った。また、鯨に関する教育普及として出前講座などでの活動を開始し、出前講座 1件、講義ならびに講演 7件、執筆 1件に対応した。
 - ⑥ 解説ボランティアの育成として、飼育員による飼育生物に関する講話（おもしろ話、新着生物の紹介など）を行った他、企画展の内容説明会、研修会も実施した。新規ボランティアを募集し、5名が新たに活動を開始した他、年間活動人数はのべ 1,743人に及び、通常の解説活動や観客支援に加え、新たな企画として「これしっちょる？なぞとき海響館！」を実施した。この他にも自主企画活動である館内ガイドツアーや海響館キッズフェスタ、まんぼう川柳などが実施された。
 - ⑦ 明治学園中学高等学校、水産大学校と連携した SSH 活動を継続し、平成24年度で満了した。
 - ⑧ ドルフィンセラピーは、平成23年度に引き続き下関市立市民病院との連携をとり実施し、参加者は 36名であった。平成14年度の試験運用より、延べ 359名の参加者数となっている。
 - ⑨ シロナガスクジラ全身骨格標本についてはトロムソ大学博物館からマリア・カレン・クリステンセンコミュニケーション室長を招き、標本検査及び記念講演会を実施した。また、トロムソコーナーの展示内容をサーミ民族のトナカイ毛皮製ブーツに変更した。
 - ⑩ 実施を予定した「神田川の生き物観察会」について、参加者を募集したが悪天候のため中止した。
 - ⑪ 特別イベントとして、飼育の日やハロウィンイベントの他、「超希少生物！リュウグウノツカイを間近でみてみよう！」などを開催した。また、冬期（12～2月）はお客様の利便性などに配慮し、飼育エリア内に立ち入る体験型イベントをペンギン解説イベントに変更した。
 - ⑫ 関門ダイブにて、サンタダイバー、鬼さんダイバーなど、季節の演出を取り入れた特別バージョンを実施した。

平成24年度入館者実績

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位：人)

月	有料入館者								無料入館者		全入館者		
	個人				小計	団体		計	計	計	累計		
	市内	対全入館者比率	市外	対全入館者比率		対全入館者比率	対有料入館者比率						
4月	2,706	6.0%	34,300	76.6%	37,006	3,697	8.3%	40,703	90.9%	4,063	9.1%	44,766	44,766
		6.6%		84.3%			9.1%						
5月	3,619	5.0%	50,306	68.8%	53,925	13,481	18.4%	67,406	92.2%	5,741	7.8%	73,147	117,913
		5.4%		74.6%			20.0%						
6月	2,702	7.7%	21,282	61.1%	23,984	6,897	19.8%	30,881	88.6%	3,968	11.4%	34,849	152,762
		8.8%		68.9%			22.3%						
7月	2,530	5.4%	32,399	68.8%	34,929	5,568	11.8%	40,497	86.0%	6,612	14.0%	47,109	199,871
		6.2%		80.0%			13.8%						
8月	4,396	3.5%	101,533	81.7%	105,929	9,500	7.7%	115,429	92.9%	8,815	7.1%	124,244	324,115
		3.8%		88.0%			8.2%						
9月	2,025	3.3%	45,976	75.5%	48,001	7,937	13.0%	55,938	91.8%	5,013	8.2%	60,951	385,066
		3.6%		82.2%			14.2%						
10月	2,467	5.0%	26,420	53.4%	28,887	15,483	31.3%	44,370	89.7%	5,109	10.3%	49,479	434,545
		5.6%		59.5%			34.9%						
11月	1,362	3.6%	24,548	65.2%	25,910	8,223	21.8%	34,133	90.6%	3,554	9.4%	37,687	472,232
		4.0%		71.9%			24.1%						
12月	15,350	35.1%	22,978	52.5%	38,328	2,525	5.7%	40,853	93.3%	2,918	6.7%	43,771	516,003
		37.6%		56.2%			6.2%						
1月	8,056	18.7%	28,213	65.4%	36,269	2,952	6.8%	39,221	90.9%	3,914	9.1%	43,135	559,138
		20.6%		71.9%			7.5%						
2月	1,563	3.5%	35,736	80.3%	37,299	3,083	6.9%	40,382	90.7%	4,152	9.3%	44,534	603,672
		3.9%		88.5%			7.6%						
3月	4,658	4.8%	81,294	83.8%	85,952	5,791	6.0%	91,743	94.6%	5,242	5.4%	96,985	700,657
		5.1%		88.6%			6.3%						
計	51,434	7.3%	504,985	72.1%	556,419	85,137	12.2%	641,556	91.6%	59,101	8.4%	700,657	
		8.0%		78.7%			13.3%						

3. 会議に関する事項

(1) 理事会

平成24年度の開催状況及び議決事項は次のとおりである。

区分	開催日	議決・報告事項
第1回	平成24年5月21日	議決事項1. 平成23年度事業報告及び決算の件 議決事項2. 評議員会の招集の決定の件 議決事項3. 評議員会へ提出する役員等候補者の件 報告事項1. 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告について
第2回	平成25年2月27日	議決事項1. 平成24年度設備投資見込みの件 議決事項2. 平成25年度事業計画及び収支予算の件 議決事項3. 評議員会の招集の決定の件 議決事項4. 諸規程の制定及び改定の件 報告事項1. 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告について

(2) 評議員会

平成24年度の開催状況及び議決事項は次のとおりである。

区分	開催日	議決・報告事項
第1回	平成24年5月29日	議決事項1. 議事録署名人の選出の件 議決事項2. 平成23年度事業報告及び決算の件 議決事項3. 評議員の選任の件 議決事項4. 理事の選任の件 議決事項5. 監事の選任の件 報告事項1. 現況報告
第2回	平成25年3月18日	議決事項1. 議事録署名人の選出の件 議決事項2. 平成25年度事業計画及び収支予算の件 報告事項1. 現況報告

4. 役員等に関する事項

(1) 平成25年3月31日現在の評議員は次のとおりである。

常勤・非常勤	氏名	就任年月日	
非常勤	松村 久	平成24年4月1日	
非常勤	中嶋 豪	平成24年4月1日	
非常勤	古田 巧	平成24年4月1日	
非常勤	大西 春菜	平成24年4月1日	
非常勤	今津 時宏	平成24年4月1日	
非常勤	林 俊作	平成24年4月1日	
非常勤	淀江 哲也	平成24年4月1日	
非常勤	田中 傳	平成24年4月1日	
非常勤	中村 成志	平成24年4月1日	
非常勤	田淵 清隆	平成24年4月1日	
非常勤	久保田 裕明	平成24年5月29日	
非常勤	渡邊 太志	平成24年5月29日	
非常勤	石藏 康宏	平成24年4月1日	
非常勤	西川 ひとみ	平成24年4月1日	
非常勤	蛭尾 定夫	平成24年4月1日	
非常勤	山田 恭之	平成24年5月29日	

(2) 平成25年3月31日現在の理事は次のとおりである。

常勤・非常勤	氏名	就任年月日	
非常勤	中尾 友昭	平成24年4月1日	理事長
常勤	石橋 敏章	平成24年4月1日	専務理事
常勤	原田 伴博	平成24年4月1日	常務理事
非常勤	吉川 宗利	平成24年4月1日	
非常勤	林 孝介	平成24年4月1日	
非常勤	近藤 洋平	平成24年4月1日	
非常勤	木原 實	平成24年4月1日	
非常勤	佐々木 正一	平成24年4月1日	
非常勤	富永 洋一	平成24年4月1日	
非常勤	高瀬 利也	平成24年4月1日	
非常勤	和仁 皓明	平成24年4月1日	
非常勤	波佐間 清	平成24年4月1日	
非常勤	久保 正昭	平成24年5月29日	

(3) 平成25年3月31日現在の監事は次のとおりである。

常勤・非常勤	氏名	就任年月日	
非常勤	中村 文昭	平成24年5月29日	
非常勤	久保園 浩	平成24年4月1日	

5. 登記事項

平成24年度の登記事項は次のとおりです。

登記原因年月日	申請先	事項	登記年月日
平成24年4月1日	山口地方法務局	名称変更による解散	平成24年4月1日
平成24年4月1日	山口地方法務局	名称変更による設立	平成24年4月1日
平成24年5月29日	山口地方法務局	評議員、理事及び監事の変更	平成24年6月11日
平成25年3月31日	山口地方法務局	評議員の変更	平成25年4月8日

6. 常勤の役員及び職員に関する事項

平成25年3月31日現在の人員は次のとおりである。

理事	職員	契約職員	臨時職員
2人	21人	16人	24人
	管理部	管理部	管理部
専務理事	管理部長（常務理事兼務）		
常務理事	管理部長 1人		
	管理部長次長 1人		
	管理課 2人	管理課 1人	管理課 4人
	業務課 2人	業務課 4人	業務課 8人
	展示部	展示部	展示部
	展示部長 1人		
	魚類展示課長兼海獣展示課長 1人		
	魚類展示課 6人	魚類展示課 2人	魚類展示課 3人
	海獣展示課 7人	海獣展示課 9人	海獣展示課 9人
	鯨類研究室		
	鯨類研究室長 1人		

平成24年度 貸借対照表

平成25年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	36,873,369	26,011,284	10,862,085
普通預金	289,253,528	367,314,000	△ 78,060,472
郵便振替専用口座	66,000	8,500	57,500
定期預金	50,000,000	50,000,000	0
売掛金	0	0	0
未収金	56,320,971	14,494,954	41,826,017
たな卸資産	1,506,667	1,267,875	238,792
前払金	598,257	7,931	590,326
前払費用	0	0	0
仮払金	0	0	0
流動資産合計	434,618,792	459,104,544	△ 24,485,752
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	49,000,000	49,000,000	0
基本財産引当預金	100,000,000	100,000,000	0
基本財産合計	149,000,000	149,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	23,648,027	23,967,546	△ 319,519
役員退職慰労引当資産	17,030,000	15,405,000	1,625,000
特定資産合計	40,678,027	39,372,546	1,305,481
(3) その他固定資産			
什器備品	29,989,402	21,654,402	8,335,000
減価償却累計額	△ 14,003,541	△ 10,401,707	△ 3,601,834
電話加入権	1,512,000	1,512,000	0
その他固定資産合計	17,497,861	12,764,695	4,733,166
固定資産合計	207,175,888	201,137,241	6,038,647
資産合計	641,794,680	660,241,785	△ 18,447,105
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	20,109,335	17,453,709	2,655,626
未払金	223,839,630	267,559,176	△ 43,719,546
未払法人税等	7,147,000	447,400	6,699,600
未払消費税等	3,231,233	2,681,740	549,493
預り金	4,332,044	4,396,348	△ 64,304
仮受金	46,233,570	39,261,534	6,972,036
流動負債合計	304,892,812	331,799,907	△ 26,907,095
2. 固定負債			
退職給付引当金	23,648,027	23,967,546	△ 319,519
役員退職慰労引当金	17,030,000	15,405,000	1,625,000
固定負債合計	40,678,027	39,372,546	1,305,481
負債合計	345,570,839	371,172,453	△ 25,601,614
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	296,223,841	289,069,332	7,154,509
(うち基本財産への充当額)	(149,000,000)	(149,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	296,223,841	289,069,332	7,154,509
負債及び正味財産合計	641,794,680	660,241,785	△ 18,447,105

平成24年度 貸借対照表内訳表

平成25年3月31日現在

(単位:円)

科目	公益目的 事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金	11,960,226	24,799,063	114,080	0	36,873,369
普通預金	158,307,280	130,863,981	82,267	0	289,253,528
郵便振替専用口座	66,000	0	0	0	66,000
定期預金	0	50,000,000	0	0	50,000,000
売掛金	0	0	0	0	0
未収金	36,955,022	641,103	18,724,846	0	56,320,971
たな卸資産	0	1,506,667	0	0	1,506,667
前払金	598,257	0	0	0	598,257
前払費用	0	0	0	0	0
仮払金	0	0	0	0	0
流動資産合計	207,886,785	207,810,814	18,921,193	0	434,618,792
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
投資有価証券	49,000,000	0	0	0	49,000,000
基本財産引当預金	100,000,000	0	0	0	100,000,000
基本財産合計	149,000,000	0	0	0	149,000,000
(2) 特定資産					
退職給付引当資産	22,229,145	0	1,418,882	0	23,648,027
役員退職慰労引当資産	10,218,000	2,554,500	4,257,500	0	17,030,000
特定資産合計	32,447,145	2,554,500	5,676,382	0	40,678,027
(3) その他固定資産					
什器備品	0	29,989,402	0	0	29,989,402
減価償却累計額	0	△ 14,003,541	0	0	△ 14,003,541
電話加入権	226,800	151,200	1,134,000	0	1,512,000
その他固定資産合計	226,800	16,137,061	1,134,000	0	17,497,861
固定資産合計	181,673,945	18,691,561	6,810,382	0	207,175,888
資産合計	389,560,730	226,502,375	25,731,575	0	641,794,680
II 負債の部					
1. 流動負債					
買掛金	0	20,109,335	0	0	20,109,335
未払金	157,328,919	50,593,253	15,917,458	0	223,839,630
未払法人税等	0	7,147,000	0	0	7,147,000
未払消費税等	0	229,835	3,001,398	0	3,231,233
預り金	4,324,296	5,411	2,337	0	4,332,044
仮受金	46,233,570	0	0	0	46,233,570
流動負債合計	207,886,785	78,084,834	18,921,193	0	304,892,812
2. 固定負債					
退職給付引当金	22,229,145	0	1,418,882	0	23,648,027
役員退職慰労引当金	10,218,000	2,554,500	4,257,500	0	17,030,000
固定負債合計	32,447,145	2,554,500	5,676,382	0	40,678,027
負債合計	240,333,930	80,639,334	24,597,575	0	345,570,839
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産	0	0	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	149,226,800	145,863,041	1,134,000	0	296,223,841
(うち基本財産への充当額)	(149,000,000)	(0)	(0)	(0)	(149,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	149,226,800	145,863,041	1,134,000	0	296,223,841
負債及び正味財産合計	389,560,730	226,502,375	25,731,575	0	641,794,680

平成24年度 貸借対照表(公益目的事業会計)

平成25年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	11,960,226	7,052,932	4,907,294
普通預金	158,307,280	289,504,278	△ 131,196,998
郵便振替専用口座	66,000	8,500	57,500
定期預金	0	0	0
売掛金	0	0	0
未収金	36,955,022	13,802,898	23,152,124
たな卸資産	0	0	0
前払金	598,257	7,931	590,326
前払費用	0	0	0
仮払金	0	0	0
流動資産合計	207,886,785	310,376,539	△ 102,489,754
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	49,000,000	49,000,000	0
基本財産引当預金	100,000,000	100,000,000	0
基本財産合計	149,000,000	149,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	22,229,145	23,526,366	△ 1,297,221
役員退職慰労引当資産	10,218,000	7,702,500	2,515,500
特定資産合計	32,447,145	31,228,866	1,218,279
(3) その他固定資産			
什器備品	0	0	0
減価償却累計額	0	0	0
電話加入権	226,800	1,512,000	△ 1,285,200
その他固定資産合計	226,800	1,512,000	△ 1,285,200
固定資産合計	181,673,945	181,740,866	△ 66,921
資産合計	389,560,730	492,117,405	△ 102,556,675
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	0	0	0
未払金	157,328,919	264,647,709	△ 107,318,790
未払法人税等	0	0	0
未払消費税等	0	2,070,948	△ 2,070,948
預り金	4,324,296	4,396,348	△ 72,052
仮受金	46,233,570	39,261,534	6,972,036
流動負債合計	207,886,785	310,376,539	△ 102,489,754
2. 固定負債			
退職給付引当金	22,229,145	23,526,366	△ 1,297,221
役員退職慰労引当金	10,218,000	7,702,500	2,515,500
固定負債合計	32,447,145	31,228,866	1,218,279
負債合計	240,333,930	341,605,405	△ 101,271,475
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	149,226,800	150,512,000	△ 1,285,200
(うち基本財産への充当額)	(149,000,000)	(149,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	149,226,800	150,512,000	△ 1,285,200
負債及び正味財産合計	389,560,730	492,117,405	△ 102,556,675

平成24年度 貸借対照表(収益事業等会計)

平成25年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	24,799,063	18,958,352	5,840,711
普通預金	130,863,981	77,809,722	53,054,259
郵便振替専用口座	0	0	0
定期預金	50,000,000	50,000,000	0
売掛金	0	0	0
未収金	641,103	692,056	△ 50,953
たな卸資産	1,506,667	1,267,875	238,792
前払金	0	0	0
前払費用	0	0	0
仮払金	0	0	0
流動資産合計	207,810,814	148,728,005	59,082,809
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	0	0	0
基本財産引当預金	0	0	0
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	0	441,180	△ 441,180
役員退職慰労引当資産	2,554,500	7,702,500	△ 5,148,000
特定資産合計	2,554,500	8,143,680	△ 5,589,180
(3) その他固定資産			
什器備品	29,989,402	21,654,402	8,335,000
減価償却累計額	△ 14,003,541	△ 10,401,707	△ 3,601,834
電話加入権	151,200	0	151,200
その他固定資産合計	16,137,061	11,252,695	4,884,366
固定資産合計	18,691,561	19,396,375	△ 704,814
資産合計	226,502,375	168,124,380	58,377,995
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	20,109,335	17,453,709	2,655,626
未払金	50,593,253	2,911,467	47,681,786
未払法人税等	7,147,000	447,400	6,699,600
未払消費税等	229,835	610,792	△ 380,957
預り金	5,411	0	5,411
仮受金	0	0	0
流動負債合計	78,084,834	21,423,368	56,661,466
2. 固定負債			
退職給付引当金	0	441,180	△ 441,180
役員退職慰労引当金	2,554,500	7,702,500	△ 5,148,000
固定負債合計	2,554,500	8,143,680	△ 5,589,180
負債合計	80,639,334	29,567,048	51,072,286
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	145,863,041	138,557,332	7,305,709
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	145,863,041	138,557,332	7,305,709
負債及び正味財産合計	226,502,375	168,124,380	58,377,995

平成24年度 貸借対照表(法人会計)

平成25年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	114,080	0	114,080
普通預金	82,267	0	82,267
郵便振替専用口座	0	0	0
定期預金	0	0	0
売掛金	0	0	0
未収金	18,724,846	0	18,724,846
たな卸資産	0	0	0
前払金	0	0	0
前払費用	0	0	0
仮払金	0	0	0
流動資産合計	18,921,193	0	18,921,193
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	0	0	0
基本財産引当預金	0	0	0
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	1,418,882	0	1,418,882
役員退職慰労引当資産	4,257,500	0	4,257,500
特定資産合計	5,676,382	0	5,676,382
(3) その他固定資産			
什器備品	0	0	0
減価償却累計額	0	0	0
電話加入権	1,134,000	0	1,134,000
その他固定資産合計	1,134,000	0	1,134,000
固定資産合計	6,810,382	0	6,810,382
資産合計	25,731,575	0	25,731,575
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	0	0	0
未払金	15,917,458	0	15,917,458
未払法人税等	0	0	0
未払消費税等	3,001,398	0	3,001,398
預り金	2,337	0	2,337
仮受金	0	0	0
流動負債合計	18,921,193	0	18,921,193
2. 固定負債			
退職給付引当金	1,418,882	0	1,418,882
役員退職慰労引当金	4,257,500	0	4,257,500
固定負債合計	5,676,382	0	5,676,382
負債合計	24,597,575	0	24,597,575
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	1,134,000	0	1,134,000
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	1,134,000	0	1,134,000
負債及び正味財産合計	25,731,575	0	25,731,575

平成24年度 正味財産増減計算書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	200,000	201,095	△ 1,095
② 受取会費			
賛助会員受取会費	21,053,900	21,472,200	△ 418,300
③ 事業収益			
管理受託事業収益	785,687,493	825,361,588	△ 39,674,095
館内販売事業収益	230,784,784	255,528,319	△ 24,743,535
レストラン事業収益	3,000,000	3,000,000	0
写真販売事業収益	1,777,569	2,383,082	△ 605,513
自動販売機等事業収益	23,016,987	20,483,522	2,533,465
④ 雑収益			
受取利息	100,431	629	99,802
雑収益	6,455,380	1,865,006	4,590,374
経常収益計	1,072,076,544	1,130,295,441	△ 58,218,897
(2) 経常費用			
① 事業費			
役員報酬	11,280,000	7,500,000	3,780,000
給料	80,630,039	2,859,063	77,770,976
職員手当	67,216,591	17,573,834	49,642,757
退職給付費用	4,663,805	966,760	3,697,045
役員退職慰労金	1,218,750	0	1,218,750
福利厚生費	27,816,142	4,132,532	23,683,610
臨時職員賃金	41,666,304	15,583,788	26,082,516
会議費	369,145	462,313	△ 93,168
旅費交通費	4,558,040	4,036,062	521,978
通信運搬費	1,782,924	2,053,982	△ 271,058
減価償却費	3,601,834	3,515,011	86,823
消耗什器備品費	2,259,524	2,099,014	160,510
消耗品費	26,612,102	26,751,374	△ 139,272
水族購入費	5,283,969	6,751,950	△ 1,467,981
展示資料購入費	105,491	56,259	49,232
飼料購入費	26,601,169	26,230,249	370,920
原材料費	400,102	475,365	△ 75,263
修繕費	20,597,054	18,234,542	2,362,512
印刷製本費	4,780,492	7,398,405	△ 2,617,913
燃料費	1,288,264	1,378,115	△ 89,851
光熱水料費	205,256,543	208,770,505	△ 3,513,962
賃借料	19,052,006	20,912,285	△ 1,860,279
保険料	1,814,200	0	1,814,200
諸謝金	19,489	55,555	△ 36,066
手数料	14,939,650	18,615,227	△ 3,675,577
広報宣伝費	41,869,537	42,592,906	△ 723,369
租税公課	3,811,635	4,764,792	△ 953,157
支払負担金	903,314	862,451	40,863
委託費	200,523,817	254,778,733	△ 54,254,916
期首商品棚卸高	1,267,875	2,230,493	△ 962,618
館内販売仕入費	155,436,207	166,301,834	△ 10,865,627
期末商品棚卸高	△ 1,506,667	△ 1,267,875	△ 238,792
雑費	24,032	49,519	△ 25,487

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
② 管理費			
役員報酬	4,005,000	7,798,200	△ 3,793,200
給料	11,431,006	91,877,226	△ 80,446,220
職員手当	11,159,276	63,777,989	△ 52,618,713
退職給付費用	486,651	7,408,594	△ 6,921,943
役員退職慰労金	406,250	0	406,250
福利厚生費	4,322,311	28,174,857	△ 23,852,546
臨時職員賃金	5,179,921	35,505,957	△ 30,326,036
会議費	348,822	283,245	65,577
旅費交通費	2,113,710	2,373,619	△ 259,909
交際費	0	0	0
通信運搬費	1,058,293	1,319,034	△ 260,741
減価償却費	0	0	0
消耗什器備品費	834,375	0	834,375
消耗品費	3,555,868	2,693,595	862,273
原材料費	7,875	0	7,875
修繕費	474,462	188,445	286,017
印刷製本費	778,680	493,605	285,075
燃料費	146,811	75,258	71,553
光熱水料費	10,585,135	0	10,585,135
賃借料	2,075,590	1,347,563	728,027
保険料	341,290	1,677,301	△ 1,336,011
諸謝金	22,222	0	22,222
手数料	401,024	128,975	272,049
租税公課	11,271,698	10,587,548	684,150
支払負担金	730,200	631,300	98,900
委託費	9,893,786	5,075,765	4,818,021
雑費	1,400	0	1,400
経常費用計	1,057,775,035	1,128,143,119	△ 70,368,084
評価損益等調整前当期経常増減額	14,301,509	2,152,322	12,149,187
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	14,301,509	2,152,322	12,149,187
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 固定資産売却益			
什器備品売却益	0	0	0
電話加入権売却益	0	0	0
② 固定資産受贈益			
投資有価証券受贈益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
① 固定資産売却損			
什器備品売却損	0	0	0
電話加入権売却損	0	0	0
② 固定資産減損損失			
投資有価証券減損損失	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	14,301,509	2,152,322	12,149,187
法人税、住民税及び事業税	7,147,000	447,400	6,699,600
当期一般正味財産増減額	7,154,509	1,704,922	5,449,587
一般正味財産期首残高	289,069,332	287,364,410	1,704,922
一般正味財産期末残高	296,223,841	289,069,332	7,154,509
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	296,223,841	289,069,332	7,154,509

